小金井市・小平市・武蔵野市センター校

特別支援教育通信　第５号

そ よ か ぜ

令和８年９月 15 日
東京都立小金井特別支援学校
校長　石田　節恵
担当　山下　舞

夏休みも終わり、学校には子供たちの元気な声が戻ってきました。２学期は様々な学校行事が予定されています。残暑が続く中ではありますが、一人一人の体調に気を配りながら、充実した学校生活を送れるよう取り組んでまいります。

今号の「そよかぜ」では、夏季休業中に実施した本校の取組や活動についてお伝えします。

さくらんぼ教室（７月 24 日）



本校通学区域の年長児を対象に、体験教室を実施しました。

さくらんぼ教室では、始まりの会やリトミック、手遊び、シーツブランコ、見る・聞く活動などを本校教員と一緒に体験しました。保護者の皆様には廊下からお子さんの様子を見守っていただきました。初めての場所や活動に緊張する姿も見られましたが、教員との関わりや活動を楽しむ様子も見られました。本校の雰囲気や教育活動について知っていただく貴重な機会となりました。



支援機関見学会（７月 22 日）

本校教員が地域の関係機関と連携を図り、児童・生徒の地域での生活について理解を深めるために、毎年実施しています。今年度は、児童発達支援センターこだいら　児童発達支援事業あすの子園、株式会社あおぞら Soralis こだいら、株式会社ネクサス・クラン　ハートキッズ小川を見学させていただきました。

就学前施設での活動の様子や、学校以外の場での過ごし方を知ることは、児童・生徒の新たな一面を発見し、より良い支援や指導につなげる上で大切です。

また、保護者の方や施設職員の方、関係機関の方々と学校が連携し、児童・生徒の支援について情報共有や相談を行う会議を実施することもできます。御希望や御相談がありましたら、担任又は特別支援教育コーディネーターまでお気軽に御連絡ください。

障害のある児童・生徒の理解推進研修会（８月 27 日）

特別支援学校がセンター的機能を発揮し、地域の特別支援教育の充実と障害者理解の推進を図ることをねらいとして、地域の関係機関職員と本校教員向けに研修会を行いました。

講師として、今年度は作業療法士の先生をお招きし、「なぜこの子はうまくできないのか？ー身体と感覚から読み解く“困り感”と支援の実際ー」という演題で御講義いただきました。学校生活の中でも実践可能な具体的なプログラムや指導方法について学びました。

また、質疑応答の際には、本校で活用している教材を用いた指導の工夫や、児童生徒が日常的に使用している机・椅子における適切な姿勢について御助言をいただくことができました。

御相談は、　電話 042-384-6881
特別支援教育コーディネーター（宮本・山下・星）までお気軽にお問合せください。